

## 令和7年10月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年10月分について、輸出額は「自動車の部分品」などが増加したものの、「映像機器」、「電気回路等の機器」などが減少したことから、対前年同月比5.3%の減少となった。また、輸入額は「液化天然ガス」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「石炭」などが増加したことから、同1.2%の増加となった。

その結果、差引額は902億円（同8.8%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	926億円	▲5.3%	1,828億円	+1.2%	▲902億円	+8.8%
	15カ月連続の減少		8カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)自動車の部分品	121億円	+50.2%	輸入	増加品目	(1)原油及び粗油	1,093億円	+41.8%	
		(2)写真用・映画用材料	36億円	+45.2%			(2)石炭	45億円	+143.1%	
		(3)プラスチック	57億円	+22.5%			(3)コーヒー	22億円	+113.1%	
	減少品目	(1)映像機器	3億円	▲89.3%		減少品目	(1)液化天然ガス	220億円	▲33.2%	
		(2)電気回路等の機器	59億円	▲28.0%			(2)石油製品	79億円	▲43.6%	
		(3)自動車	139億円	▲12.8%			(3)自動車	20億円	▲71.5%	
	地域別動向	アジア、西欧が減少				地域別動向	中東、中東欧・ロシア等が増加、大洋州は減少			

（参考）ドルレートは、149.51円（前年同月比2.5%、3.64円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。